

沿岸・近海漁業資源調査 - (漁場環境調査：魚礁調査)

野元 聡

【目 的】

人工魚礁の設置状況等を把握することにより，漁場の効率的利用を図るための知見を得る。

【方 法】

県下2地区（南さつま漁協，吹上町漁協）の計5カ所において水中テレビロボット（ROV）を用いて人工魚礁の設置状況等（配置，積み重ね状況，洗掘，埋没，付着生物，魚の蝸集状況）を調査した。

【結 果】

調査結果は以下のとおり。

地区名	南さつま市坊津町地先（南さつま漁協秋目支所）
調査日	平成23年3月23日
天気	晴
魚礁漁場名	平成8年度並型魚礁設置事業
魚礁機種	1.5m角形魚礁，FP魚礁
水深（m）	60
調査概要	1.5m角形魚礁の乱積み，およびFP魚礁の点在が確認された。 魚礁は一部埋没しており，場所によっては1mを超える大きな埋没が確認された。 魚礁の表面にはソフトコーラル類を主とする付着生物が見られた。 魚礁には，オオモンハタ，イサキなど多くの魚の蝸集が見られた。
確認された魚種	オオモンハタ，イシダイ，ヒラメ，イサキ，ネンブツダイ，サバフグ
埋没・損壊状況	1.5m角形魚礁では，1mを超える大きな埋没が確認された。 FP魚礁では，各魚礁20～30cm程度の軽微な埋没が確認された。

地区名	日置市吹上町地先（吹上町漁協）	
調査日	平成27年3月26日	
天気	晴れ	
魚礁漁場名	吹上育成礁 (H12～14広域漁場整備事業)	吹上保育礁 (H11,12広域漁場整備事業)
魚礁機種 (漁場番号:基数)	A T魚礁I型 (8基, 6基, 6基)	クリスタリ-フCN - 2B
水深(m)	34～37m	27m
調査概要	<p>育成礁ではAT魚礁，保育礁ではクリスタリ-フが点在しているのを確認。 透視度が低く，水中カメラによる目視がやや困難な状況で，魚影が映像に写り込むものの種判別には至らない魚もあった。 昨年網漁業等の操業に支障を来した，シオミドロの大量発生は見られなかった。 魚礁表面には，フジツボ類やソフトコーラルの着生が見られた。</p>	
確認された魚種	オオモンハタ，カワハギ，イサキ，カゴカキダイ，コロダイ，ミノカサゴ	マダイ，イサキ
埋没・損壊状況	10～20cm程度の軽微な埋設を確認。 育成礁では，ロープのようなものが絡まっているのを確認。	10～20cm程度の軽微な埋設を確認。